

## 第4

## 飯南町の主要課題

本町の特性と本町を取り巻く外部環境を踏まえ、以下の点を本町の主要課題として捉えます。

### 主要課題① 地域資源を活かした産業の活性化

豊かな自然環境やその自然の中で育った水・空気・微生物など、資源を最大限活かしたまちづくりが求められます。

特に近年では、健康・環境意識の高まりや都市住民の農村志向の高まりがみられます。本町の特徴である自然資源を活かすとともに、町内の農林業や商工業など、すべての産業が連携することにより、広域的な交流を深め、産業の活性化、新たな産業分野への展開及び新たな雇用を創出していくことが必要となっています。

### 主要課題② 自然の源を守る循環型社会の形成

地球規模で問題となっている環境問題をはじめ、本町においても、不法投棄などのごみ問題や、河川の水質悪化などの自然環境問題を抱えています。

本町は、中国山地の山々や神戸川の源流などの自然の宝庫であり、環境の保全を推進していく必要があります。この自然をみんなの貴重な財産として活用し、持続可能な循環型社会の構築が必要となっています。

### 主要課題③ 定住のための安全・安心の生活環境づくり

人口減少や少子高齢化が進行するなか、空き家や高齢者世帯が増加しています。地域で支え合えるシステムの構築、U・Iターン者などが安心して定住できる生活環境づくりが必要となっています。

また、子どもに対する防犯対策の強化、連坦地や急傾斜地における防災対策などを推進し、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりが必要となっています。

### 主要課題④ 助け合いによる保健・医療・福祉の連携

保健、医療、福祉が連携したシステムづくりと地域と行政で支える体制づくりが求められます。

また、地域で助け合いながら、子育てしやすい環境づくり・居場所づくりを進めていくことも必要となっています。特に、人口の約38%を占める高齢者への情報提供、災害時や緊急時への対応の強化が必要となっています。

### 主要課題⑤ 地域と連携した教育環境づくり

心豊かで個性ある人材を育成するためには、学校教育だけでなく、体験学習や地域活動を通して、地域と一体的となった教育環境づくりが必要となっています。

また、地域との連携により様々な学習機会や活動への参加機会を設け、異世代交流を進め、本町の伝統的な文化を次世代へ継承していくことが必要となっています。

### 主要課題⑥ 参画と連携による協働のまちづくり

地方分権社会の推進により、本町の自主自立(律)に向けた行政改革が求められます。

そのため、住民と行政が役割を分担し合い、協働でまちづくりを進めることが不可欠になってきています。住民はまちづくりの主役として、自ら考えて行動する姿勢をもち、行政は住民の自主的な行動を尊重し、支援していくことが必要となっています。